

宇宙開発の現状報告

(平成 24 年 3 月 14 日(水曜日)～平成 24 年 3 月 20 日(火曜日))

平成 24 年 3 月 21 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する海外の動向

特になし

宇宙開発に関する国内の動向

● 月面ロボットモデルの砂丘地形での走行実験等

3 月 13 日(火曜日)、JAXA は、静岡県浜松市の中田島砂丘に外部機関等との共同研究で試作した月面ロボットモデルを持ち込み、砂地での走行や作業等に関する実験を行い、これらの機能や性能を確認した。

この日、砂丘斜面での走行実験を行ったのは、「単純脚/クローラロボット」(JAXA/東北大学)、「月面八輪走行ロボット」(JAXA/愛知工科大学)「永久影クレータ内探査ロボット」(JAXA/東京工業大学)の 3 台。砂丘斜面に岩石を並べた模擬月面地形を走行して、データを取得した。また、その他のロボットについても、土嚢壁構築等の作業実験や平坦な砂地での走行実験等を実施した。

● 高電圧技術実証衛星「鳳龍弐号」の完成

3 月 16 日(金曜日)、九州工業大学は、3 月 13 日に高電圧技術実証衛星「鳳龍弐号」の完成披露会を行ったと発表した。鳳龍弐号は、ミッションとして宇宙空間で世界初の 300 V 発電に挑む高電圧発電実験、衛星帯電防止・測定技術と宇宙デブリセンサの実証を行う。鳳龍弐号は JAXA が 2012 年度に打上げ予定の H- A